

衣服がワクチン寄付や雇用につながるまで

「古着deワクチン」の長所は、私たちの衣類がワクチンとなって届く、その道筋。プロセスにおいても国内外問わずに社会貢献につながる事が、このシステムを使いたい理由なのです。



カンボジアのセンターに到着した衣類は、さらに細かく選別されて店頭に並ぶ。その数は、常時5万点ほど。ここで販売しつつ、世界30カ国へ、それぞれ別の場所に選別した衣類がセレクトされ、再輸出。1点売れることにワクチン1人分が寄付される。

3 カンボジアの直営店で販売、再輸出を



「古着deワクチン」の専用回収キットは、全国の福祉作業所で製袋。海外だけでなく、国内においても障がいのある人たちの雇用や仕事を生み出している。衣類回収袋には、障がい者アーティストの作品を起用し、支援にもつなげている。

1 福祉作業所で障がいのあるスタッフが作業



私たちがキットを購入することで寄付できる5人分。さらにカンボジアでの売上によるものを合わせると、今年7月時点でおよそ430万人分のポリオワクチンを寄付。ちなみに「古着deワクチン」により、再利用された衣類は350万枚以上にのぼる。

4 キット購入代と衣類売り上げでワクチン寄付



集められた衣類は、千葉県・木更津市にあるセンターに集められ、フィリピンの女性たちを中心としたスタッフによって輸出前の作業を行う。日本はもと外国の人たちの安定した雇用の支援になる。大まかに選別を済ませた衣類は、カンボジアのセンターへ

2 古着deワクチンセンターで選別、輸出



中央がソテイさん。センターのオープンと同時に働き始め、いまではリーダーとして活躍する

気負わずできる社会貢献として注目される「古着deワクチン」。着なくなった衣類をキットにつめて送るだけで、ワクチン寄付のほか、さまざまな試みに協力できます。

取材・文/福山雅美

「古着deワクチン」で社会貢献 ワクチンの寄付や雇用を生み出す取り組み

家で眠っている、捨てるには忍びない衣類やアクセサリーの数々。自分はどう身につけないけれど、まだまだ誰かの役に立ちそうなら、それを最大限に活かす方法、それが「古着deワクチン」です。

私たちがするべきことは、手放したい衣類を専用回収キットを購入し、詰めて送るだけ。それが、衣類として誰かの元でもう一度役立つだけでなく、1袋(1口)につき、5人分のポリオワクチンとなつて、開発途上国の子どもたちを救う手助けになるのです。

昨年、カンボジアの首都プノンペンに世界唯一の直営店「古着deワクチンセンター」がオープン。日本から送られた衣類がここに一堂に集められ、選別されて店頭へ並びます。実はこの場所、本来はあくまで倉庫として考えられていたとか。

「ここはそもそも、みなさんからいただいた衣類を選別し、世界各国の必要とされる場所に送る拠点だったのです。すると、選別されている様子がまるでお店みたいにきれいだというので、近所の人々が洋服屋さんだと勘違いしてしまつて……。そこで急遽、お店としても営業することになったんです」と話すのは、現地でスタッフリーダーを務めるソテイさん。実は彼女自身、ポリオの後遺症で右足に障がいがあります。



衣類は一律5ドル。現地の感覚では安くはないが、意図に賛同した人が購入していく

「これまではなかなか、望む仕事につくことが難しかったんです。ところがこの求人、ポリオによる後遺症がある人たちが積極的に採用しているので応募しました。私以外にも、同じポリオの後遺症を持つ人や貧困生活で苦勞してきたスタッフが中心で、いまでは約100人が働いています」

予防接種により子どもたちがポリオにかかることを防ぐ。それに加えて、後遺症を持つ人たちの雇用も積極的に、自立のサポートをする。「古着deワクチン」に参加することで、私たちが協力できることはとても多いのです。

「さらにここでは、衣類が1点売れることに1人分のワクチンを寄付できます。ただ衣類を売るだけではいけないので、私たちがもう一つ接客に力が入ります。買う側の人たちにも、ポリオワクチンの大切さを伝えられます。みなさんから送られた衣類は、ここで多くのものを生み出しているのです」

古着deワクチンの送り方

するべきことは、いたって簡単。発送にも、手間ばかりりません。



専用の袋に入れて発送
近くの佐川急便各営業所へ、電話にて集荷を依頼。紙袋に貼ってある専用の着払い伝票を使用して発送するだけ



手放したいものを決めます
Tシャツ類なら約100枚、セーター類、ズボン類、ジャケット類なら各約40枚が入る。重くなるので、玄関での梱包がおすすめ



専用回収キットが届きます
注文後約1〜2週間後に出荷、キットが届く。袋の絵は、障がい者アート協会と連携したコンクールで採用した藤美原さんの作品

古着deワクチンに送れるもの(一例)

分別の必要はありません。女性服、男性服、子ども服など、すべて一緒にいられます。

送れるもの 衣類全般(ハンドメイドも可。名前入りのもの、スーツ、スキーウェア、着物など)、服飾雑貨全般(ハンドメイドも可。バッグ、靴、マフラー、ストール、帽子、ベルト、手袋、サングラス、ネックレスやブレスレット、イヤリングなどのアクセサリー)など
送れないもの 下着類、靴下、タイツ、水筒、パジャマ、シーツや枕、毛布以外の寝具、使用済みのタオル類、ぬいぐるみ、傘、布、大きな穴が開いているもの、著しく汚れているものなど

*詳しくは天然生活ONLINE SHOPでご確認ください

天然生活ONLINE SHOPで「古着deワクチン」専用回収キット(3,300円、税込)が購入できます。

販売開始日 2022年9月20日(火) 12:00(正午)

お申込み窓口 インターネットで、『天然生活ONLINE SHOP』よりお申込みください。

https://shop.tennenseikatsu.jp/ スマートフォンはこちらから▶



栄養バランスのよい食事や生活習慣で、ゆるやかに体を整えて冬に備えましょう。

天然生活

体をゆるめて健康に

幸せは自分で見つける
日常の小さな幸せの集まりが、自分だけの幸せになる。大人になつてからかえり、私を幸せにした、あの言葉。私の価値観を変えた本に、感謝の気持ちを込めて。

甘酒とシジューのお菓子
台所のあまろい小さな贈り物
「ほろろ」を診察して
お母さん、お父さん、おじいさん、おばあさん、みんなの笑顔が、私を幸せにしています。

11
NOV. 2022
VOL. 207
¥820